

平成24年度行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	震災廃棄物対策指針の策定	<b>担当部局</b>	廃棄物・リサイクル対策部	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成24年度～25年度	<b>担当課室</b>	廃棄物対策課	廃棄物対策課長 山本昌宏				
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>上位政策</b>	4-3一般廃棄物対策(排出抑制・リサイクル・適正処理等)					
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	災害対策基本法	<b>関係する計 画、通知等</b>	防災基本計画、環境省防災業務計画					
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	平成10年に策定された震災廃棄物対策指針は、阪神・淡路大震災において、大地震による災害は、被害が広い範囲に及ぶほか、災害廃棄物の発生量も他の災害と比べ大量であることなどを考慮して策定されたものであるが、東日本大震災においては、さらに大きな被害が発生したことから、現行指針を見直し、地方公共団体に対して、津波による被害をも想定した新たな計画策定を要請し、今後の震災に備える。							
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	東日本大震災においては、阪神・淡路大震災を超える大きな被害が発生したこと、また津波により発生した廃棄物は、あらゆるものが混在し、あらゆる場所に広く拡散したことなど、この震災による災害廃棄物を処理するに当たった課題を整理するとともに、この震災における被害の情報等を収集し、被害の規模を複数段階に設定したうえで、必要な対策を盛り込んだ指針を策定する。 また、新しい計画項目を提示するだけでなく、災害廃棄物の発生量の推計方法やその後の実施計画の作成方法等についても、マニュアル的に整理し、真に地方自治体が使える指針を策定する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算	—	—	—	9	7	
		補正予算	—	—	—	0		
		繰越し等	—	—	—	0		
		計	—	—	—	9	7	
	執行額	—	—	—				
執行率(%)	—	—	—					
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 21年度 <input type="checkbox"/> 22年度 <input type="checkbox"/> 23年度 <input type="checkbox"/> 24年度 <input type="checkbox"/> 25年度	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	指針等の検討を行うものであり、定量的な成果目標は存在しない。			成果実績				
				達成度				
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 21年度 <input type="checkbox"/> 22年度 <input type="checkbox"/> 23年度 <input type="checkbox"/> 24年度	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	指針等の検討を行うものであり、定量的な活動指標は存在しない。			活動実績 (当初見込み)				—
					( )	( )	( )	
<b>単位当たり コスト</b>	(円/ )		算出根拠					
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	9	7					
	計	9	7					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	放射性物質を含む廃棄物の適正な処理方法を検討するため、国が事業を行うもの。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果			
予算監視・効率化チームの所見			
<p>今後の震災に備え、必要な対策を盛り込んだ指針を策定するために、調査・検討を効率的かつ効果的に実施すること。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

